

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び  
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 北九州市 】

1 実践テーマ	【 I、V 】
2 実施対象者	北九州市立高生中学校 第1学年（104名） 第3学年（130名）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ 保健体育 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	○保健体育の授業を通して、得意でも不得意でもスポーツに親しむ心を育む。 ○スポーツを楽しむ心を養うことで、将来、スポーツを「する・見る・支える」という何かしらの関わり方を各々が学び、生涯にわたりスポーツに関わる心を養う。
5 取組内容	○第3学年 東京オリンピックから、種目として復活するソフトボールに触れ、ルール複雑さを学び、そのルールを駆使してチームで協力することにより攻守ともにプレーを楽しんだ。  ○第1学年 柔道の成り立ちから、嘉納治五郎氏の功績、オリンピック種目となった経緯を説明し、実際に柔道に取り組んだ。  ブラインドサッカーという種目を紹介し、実際に体験してみると、その難しさを経験した。  オリンピック・パラリンピックについて、自分の考えや友達の意見を聞き、スポーツの有意義さ必要性を感じ、生涯にわたってスポーツに関わる心を養った。

<p>6 主な成果</p>	<p>○第3学年 自分たちが取り組んでいる授業の単元が、オリンピック種目として行われることを知り、興味や関心を高めることができた。その中で、複雑なルールを理解し、そのルールを駆使してチームで協力してゲームを行うこともできた。個人技能の高まりはもちろんのこと、ソフトボールという種目がオリンピック種目として採用された理由をチームプレー等を通して実感することができた。</p> <p>○第1学年 嘉納治五郎氏の柔道への思いや、オリンピック種目となった経緯等を知り、柔道の奥深さやオリンピックの在り方を学ぶことができた。</p> <p>ブラインドサッカーを通じて、目が見えない状況を体験し、その中でサッカーを行う難しさを経験し、パラリンピアンの大変さや凄さを学ぶことができた。また、日頃の生活に視点を移して、目が見えない恐怖と、どうサポートされると助かるか等を考えることができた。</p> <p>オリンピック・パラリンピックについて、各々の考えや友達の意見を聞くことができ、スポーツの有意義さを学ぶことができた。また、オリンピック・パラリンピックについて興味や関心が高まり、実際に観戦したりボランティアとして運営を支えたいという生徒が増えた。そして、スポーツの必要性を感じることで、生涯にわたってスポーツに親しみたいという心を養うことができた。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○ オリンピック・パラリンピックについての興味と関心を高め、オリンピック・パラリンピックに自らが参加する(する・見る・支える)心を養うことを念頭に置いて各々の取組を行った。</p> <p>○ オリンピック・パラリンピックの意義や歴史、また、特別な種目ばかりではないことを伝えて身近なものであるという認識を持たせ、生涯にわたってスポーツに親しむ心を育んだ。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○時間の確保の難しさ 年度当初から取組がスタートできた方が余裕をもって計画・実施ができる。予算の関係上、2学期に行うものとなり、学校行事が多い中で複数回実施するのは難しい。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○学校全体として、講師の講義や、全校集会の形でプレゼンを行い、オリンピック・パラリンピックについて学ばせたい。</p> <p>○保健体育の単元とオリンピック・パラリンピックの種目に共通するものがあれば説明し、興味と関心をさらに高めたい。</p> <p>○東京オリンピック・パラリンピックの開催地や選手の合宿・練習場等が決定されれば生徒へ報告し、観戦・見学や選手との交流、さらにボランティアも含めて東京オリンピック・パラリンピックに参加する意欲を高めたい。</p>